

青少年伝承事業



乾し海苔作り教室開催

金沢区文化協会会報



金沢区文化協会

編集人 鈴木 稔

☎ 783-8760

発行人 星 翠雲
会長

☎ 781-2624

印刷 幸栄印刷(株)

☎ 716-3366

3月18日(日)文化協会、街づくりの会、ガイド協会主催で野島公園研修センター前のバーベキュー場にて、昔の方法での乾し海苔づくり教室を開催しました。

当日は海風もあり肌にあつく乾し海苔づくりには恰好の日となりました。文庫、金沢、瀬ヶ崎、朝比奈、六浦南各小学校の生徒、それにガールスカウト合わせて60名更に先生と保護者、大世帯での作業が朝から始まりました。生徒達全員が一連の作業を体験して一人2枚の乾し海苔を作つて土産として持ち帰れるようにと、先ずは原海苔の溶解、続いて出刃包丁にての海苔切り、海苔付け作業と、次はすだれにつけた海苔干し作業と進み、みんな慣れないことばかりでしたが全ての作業が終了しました。後は乾燥を待つのみとなり昼食休憩、暖かい味噌汁に舌鼓、全員野島の展望台に上がり、金沢の海、街、山を眺めての勉強会となり待つこと4時間、乾いた順からの海苔の、ハガシ作業となり、一人2枚の収穫が予定通り出来、持ち帰れることになりました。皆さん一体となつての作業で一日中楽しい教室で、来年も是非参加したいとの要望でした。

◆新海苔 11月末から12月に採取製造したもので香り色合いともに良く新鮮さに値打ちがある。

◆寒海苔 真冬の1・2月採取製造し、色合いは落ちるがコクがある。

第七期定時総会開催

平成19年度総会が6月3日(日)能見台地区センター大会議室にて、開催されました。星会長の挨拶のあと、金沢区役所中川副区長から区長代理として文化協会がその活動を通して文化振興の中核となり金沢の文化の発展に尽力していること、又区役所の事業に対しての協力への謝意と文化協会の更なる発展を祈りますとのご挨拶を頂きました。議員団代表の黒川市会議員よりは協会設立以来、種々なる取り組みをなして金沢区の文化の発展に寄与されて来ていること、とりわけ文化財保全事業と青少年伝承事業に尽力し成果を見ており敬意を表すると共に益々の発展を祈りますとのご挨拶を頂きました。



続いて白井総務部長を議長に選び議題に入り、平成18年度事業報告並びに決算、監査報告、平成19年度の事業計画案と予算案、それに会則改正案と更に理事役員改選案共々全て可決承認され、新役員の紹介もあり総会は全て終了致しました。休憩の後懇談会に入り、前期の経過と反省、今期の課題について、又事務局からお願い事項等があり、そして新理事には文化協会10周年の記念品の手渡し等あり、和やかなうちに解散致しました。

川合玉堂別邸・野点の一日

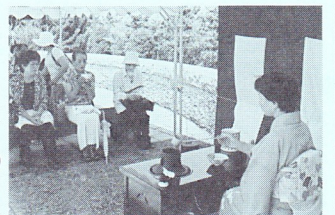
金沢茶道会の活動



歴史ある金沢区を中心に、金沢茶道会は毎年多くの行事を積極的に催しております。

今年も2月には金沢自然公園で梅見茶会を、3月には三溪園で横濱ポートヒ

ライオンズ主催の緑の大茶会を、4月には金沢地区センターで春季茶会を実施しました。



さらに5月には玉堂邸の庭で呈茶、6月には八景島のあじさい祭の期間に呈茶を延べ6回にわたり催しました。

昨年4月より毎月1回、第一土曜日に開園して以来、早くも一年が過ぎました。お陰様で皆様に大変親しまれ、また雰囲気がいかに

なりと、沢山の方が見学にお見えになっております。2,000坪の敷地には自然林があり、横浜市指定有形文化財の茅葺きの母屋と表門があつて、それだけでも見る人の目を楽しませておりますが、茶室と画室には玉堂の絵(写



真も展示してあります。それに加えて昨年度はイベントを5回実施しまして、角度を変えた施設の活用をも図っております。

本年は5月開園日に『野点』を実施しました。玉堂邸運営の基本方針は地元中心でして、『金沢茶道会』の先生方が15名お菓子は富岡駅前のお舗「紅谷」にお願ひしました。

開園日が5月連休後半でしたので、入りが心配されましたが、蓋を開けてみますと330名もの来園者がありました。会場は上の平地で真正面に富岡八幡宮の見える、見晴らしのいい所です。そういう環境の中で、先生方の卓越したお点前に来園者の皆様も満足の様子でした。

その裏には玉堂邸運営委員会各企画広報班の皆様のご協力が大きかったと思ひます。紙上を借りて厚くお礼を申し上げます。

第6回 塩田による塩じくり

金沢には今から約700年も昔に塩田があつたといわれております。前が遠浅の海、後ろの山には塩を煮詰めるのに使う燃料の木材が豊富。地形が塩田に適していたのでしようね。金沢の伝統文化「塩田による塩じくり」を金沢区役所と協働で小・中学生向けに体験学習を始めまして6年。スケジュールとしては7月21日に区役所会議室で、塩のつくり方の学習をテキストとビデオで1時間。



その後塩の道を鎌倉光触寺に向けて歩きました。途中、国の指定史跡朝比奈切通しを通り、目的の塩普地蔵に着い

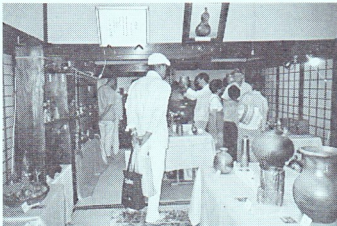


たのが12時前、現在光触寺にいられていますが、当時は道端にあり金沢でとれた塩を、鎌倉まで売りに行く途中にお地蔵様がありました。ひと休みのお礼に、つまみの塩を初穂としてお供えし、帰りにそこを通ると塩がなくなっていました。同じようなことが繰り返されたため、きつとお地蔵様がなめたに違いないと、誰いうとなく「塩普地蔵」といわれるようになりました。十二所神社まで歩きお昼になりました。

塩田は当初は7月29日でしたが、参議院議員選挙となつたため、8月5日に延期されました。すばらしい塩田日和で、また参加校も小学校が12校、中学校が3校の計15校。生徒先生・保護者・役所・スタッフ含めて総員約60名と過去最高です。3班編成で塩田も3面作りました。6回目ともなると、班毎の指導員の指導で手際よく工程

横浜備前焼 悠心陶芸教室 作品展の開催

2年に1度開催する備前焼の作品展を、去る6月3日(日)から6月9日(土)までの一週間、茅葺き屋根が特徴の金沢区瀬戸の市指定歴史的建造物・旧東照宮客殿にて開催しました。客殿を所有する備前焼作家、木村隆男とその主宰する陶芸教室の会員による計百余点の作品を展示し

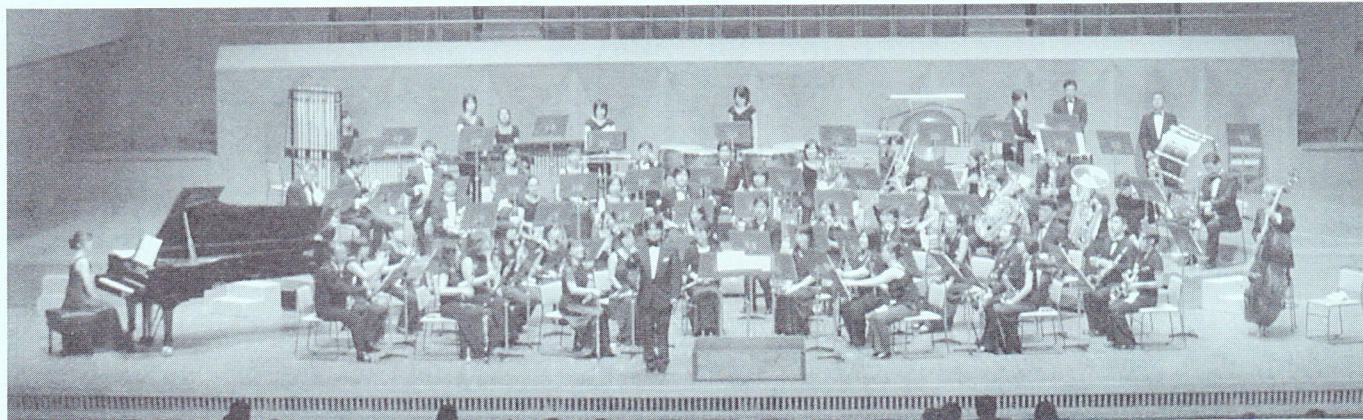


ました。壺、花瓶や茶器に加えビール用マグカップ、ランプシェードや建物・人野菜等を模した細工物など会員の個性が光る作品が出揃いました。また、山野草を中心とした生花の飾りつけ、客殿や庭園での抹茶サーブス(茶菓子つき)も

大変好評でした。さらに生徒作品の販売コーナーも大盛況で多くの作品を即売、完売しました。今回初めて企画した「作陶体験教室」も会員が懇切丁寧に指導し、初体験の方も短時間ながら茶碗など意欲的な作品に取り組み満足されたようでした。会期中天候にも恵まれ、来場者は6百人近く、抹茶サーブス、作品販売、どれも記録的な数字をあげることができました。

が進み、塩田区画(ゴミ拾い・海水汲み・海水撒き・畝づくりの繰り返し)で、砂の塩分濃度が段々高まってきます。今年はずいぶん満ち潮で、塩田そばまで水が来ていましたので運搬も楽。また熊手も柄付けを10本作って頂いたので畝づくりも楽です。はだしで砂浜が歩けないほど気温が高く、風も適当にあり11時すぎには砂面に塩の結晶がキラキラと輝き始めたので、表面の砂集め作業に入りました。大判タオルをフィルターにした濾過器を組立て、集めた砂を入れ、柴漁港から頂いた海底井戸海水で、砂の中の塩分を濾過します。海水は塩分が3%ですが、塩ポーム計で計ると5%に上がっています。さらにガーゼで仕上げを濾過してパーベキューの昼食、暑い中での作業なので、栄養補給と水分補給を適切な休養は毎年心掛けています。お昼の後(13時)にフランス鍋をかけ、仕上げの海水を入れて煮ること約2時間半、その間を利用してこれも恒例になった西瓜割り、わいわいがやがやしているうちに、4台の鍋から順次塩の結晶が析出。灰で二ガリ抜きをして完成。1人約10g宛分配して、本年も全員無事に塩づくり体験学習が終わりまし

金沢吹奏楽団 第37回 定期演奏会の開催



去る6月17日(日)横浜みなとみらい大ホールに於いて、サキソフォーン奏者で洗足学園音楽大学准教授の岩本伸一先生を常任指揮者として4回目の定期演奏会を開催することができました。岩本先生による第一部ではドビュッシーの「海」から「風と海の対話」、スミスの「フェスティヴァル・ヴァリエーションズ」といった表現力とテクニクを問われる難曲に挑戦しました。また、第二部ではニューサウンズ・イン・ブラスなど数多くの吹奏楽アレンジを手がける岩井直博先生をゲスト指揮者にお招きして、華麗なポップスステージをお楽しみ頂く事が出来ました。仕事や家事、学業など多忙な中で、団員それぞれが音楽的な目標を持って丹念に繰り返し練習の成果を、7百余名の観客の皆様にご評価いただいたことを感謝申し上げますとともに、私共の活動にご理解とご協力を頂いている金沢区民の皆様には紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

文 芸 部 活 動 報 告

金沢区民俳句大会結果

「金沢俳句会」では、6月3日金沢地区センターにおいて、第9回金沢区民俳句大会を開催し、47人の俳句愛好者が集い当季雑詠を競いました。上位の作品を紹介します。

- | | |
|------------------|-------|
| つり橋の揺れて秘境の深緑 | 川畑 文子 |
| 子育ても昭和も遠く新茶汲む | 井出 佳子 |
| 空の青海の青吸ひ濃紫陽花 | 石川 淳子 |
| さくらんぼ少女おしやれを覚えけり | 相川 澄子 |
| 芍薬の大輪崩し雨上る | 近藤 愛敬 |
| 草叢に潜む眼や蛇莓 | 長井 恵子 |
| 青嵐阿修羅となりし髪を梳く | 石川 博子 |

団体会員紹介 並北水墨会



ご存知の様に水墨画は墨の濃淡で絵を書き上げる画法で、色彩で描く華やかな絵とは違い地味ではありますが、墨一色で描かれた絵からは、独特の大人の雰囲気を感じられます。当会はその絵に魅せられた男性3人、女性8人の仲間が集まり、

毎月第1、第3火曜日に並北コミュニティハウスで、風景画を主に花や静物等を描いています。会の雰囲気はともアットホームで楽しく学んでいます。月2回の内1回は、先生の指導で手本を元に描きいろいろの評価をして戴き、描き方の基本を勉強しています。後の1回は自分で描いた絵を持ち寄り、先生から添削をして戴いています。又、自分達の絵の発表の場として、地区の作品展には積極的に参加しています。

快晴の今朝飛び立てり燕の子
本間 和子

暮合いの瀬音に乗せて河鹿笛
田中 十九

老幹のなほ余白あり深緑
鈴木 勇夫

金沢区民短歌大会結果

「金沢区民歌人会」では、4月29日、八景コミュニティハウスにて、短歌愛好家35人を集めて、「金沢区民短歌大会」を開催しました。上位の方の作品を紹介します。

音もなくナースが通る夜の廊下眠らぬ
機器の不気味な響き 三浦八重子

親方の指図にきりり返事よし若き職人
高き足場ゆく 沢田 文子

母殺めし子の名ひと文字その母の名前
にあるを知りて悲しむ 中川喜美子

団体会員紹介 ひまわり会



1982年神奈川県教育委員会の方針で県立東金沢高校の音楽室が地域の文化活動の拠点にと土曜日の午後に限って開放され、当時コーラス活動をしていた滝本洋子・森川淳子を中心となつて新しい試みに参画しました。これがひまわり会の前身で、4人・5人と顔ぶれもマチマチながら歌うことの楽しさを求めて月1回の練習をずっと続けてきました。

当初、緑茶、茶道具、スリッパ、暖房が学校側から用意され、校長先生を含めた運営委員会も毎年開かれました。参加者の希望曲を中心にあらゆるジャンルから選曲しました。現在、高校は廃校となりましたが、ひまわり会は35名の団員で「音楽のつどい」とみなとみらい大ホールでのヴィンサン・フェスティバルには12回の出場、2009年の開港150周年へのイベントにも期待を持って続けています。

文化協会 行事予定 (連絡先)

Table with 2 columns: Date/Event Name and Phone Number. Includes events like '9月30日 金沢地区センター 第9回 金沢区児童生徒書大会', '10月7日 歴史講演会 「金沢八景の成立と観光名所」', '10月10日 金沢区民文化祭参加 第19回 金沢区民作品展', etc.

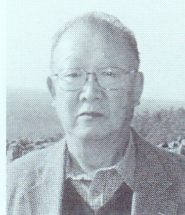
賛助会員紹介



鳥居泌尿器科・内科院長 鳥居伸一郎

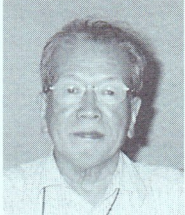
昭和44年に金沢市立小学校を卒業した頃はクリニクはクリニクのあたりは一面の蓮田で、磯子の水取沢に抜けるトンネルもなく、柴町や並木の海岸線ももつと近かったが、いまは東京の勤務医で生活の時も、いつかはこの海と山とに囲まれた自然豊かな金沢に帰ってきたいと常々思っています。平成4年に金沢市金沢区に鳥居泌尿器科・内科を開業し、現在金沢文庫にアロマセラピーのイクス、中区に夜23時まで開いている相生23クリニックを開業しております。日常診療の他に、漢方治療、アロマセラピーや音楽療法などの代替医療にも力を入れております。今後とも飛躍にいろいろな面から協力できればと考えます。

個人会員紹介



小林 弘親

私は横浜に生まれ、80年余殆んど横浜で生活してきました。その内、40数年富岡に住んでおり、横浜を愛し、金沢を愛する根っからの浜っ子一人です。金沢区文化協会へ入会したのは会の趣旨に賛同し、ささやかながら協力したいと思っただけです。私は若い頃から下手の横好きで、他人のやることは何でもやりたくなり、手を出したけれど、人並の付き合いは出来ても大成したものが一つもないのは、今になってみると残念に思いますが、これも一つの人生で幅広く色々なことが出来たのもまた、良かったのではないかと思っています。今、一応趣味として続けているのは、囲碁、ゴルフ、写真と旅行位のもので、今後、当協会がますます発展し金沢区の文化発展に寄与されることを祈ります。



堀 霧澄

大正10年岐阜に生まれ、在学中に応召、マレーの奥地で練成飛行隊から復員し私は早大の政治経済学部に戻り、卒業後は総合商社に在職していたが、趣味こそが健康の秘訣であると痛感、退職を機にコインや切手の蒐集を兼ねて70余ヶ国の観光旅行を楽しみつつ、古稀の齢に吟界の門を叩きました。吟界も亦多くの流派があつて、核となる吟技があるのに、それぞれの吟法を固守して他流を非とする傾向があるように、高邁な人格を養う吟道精神を履き進め、修業するために吟を奨めるのは詩吟の芸術的価値を高める事にはならないと思ひも抱きつつ、詩吟の普及と文化協会の掲げる地域文化の振興活動に奉仕したいと心を燃やしています。

出前教室 子供達との楽しい時間

六浦小学校での「朗読」は7年目になりました。毎月1、2年生の全6クラスを1時間(45分)づつ、古今の名作の朗読(絵本、民話の語り等)をしています。この3、4時間目の「授業の時間」に授業ではない時間「生徒達にこころを込めて」を心がけています。毎回の様々な生徒達の反応を見るのは、私自身にも喜びです。たまに迷いながら選んだ本も、読後に子供たちと同じ感動に包まれた時は最高に幸せ!と思えます。とは言い反省することも多く、現在まで続けてこられたのは、校長先生始め担任の先生方のご理解があればこそ感謝しています。 児童文化部 氏家 総子



「西湖梅を訪ねて」

横濱金澤シティガイド協会

かつて称名寺にあったとされる金沢八名木の一つ「西湖梅」は北条実時が中国の西湖から取り寄せたといわれています。「西湖梅」について詳しいことを知りたいという思いから横濱金澤シティガイド協会の会員を中心とする18名で、中国杭州市の西湖を訪ねました。事前にこちらの要望を伝えておいたため、浙江省の対外友好協会による通訳やバス・船などの移動手段、樹木担当の技術者の手配、さらには夕食会の開催など熱心な歓迎を受けました。



今回の調べでは「西湖梅」は見つけることはできませんでしたが、多くの日本人の憧れの地であった西湖の美しい風景と急成長を遂げている中国の姿を見ることができ、友好の名にふさわしい旅となりました。

編集後記

今期号は、編集の都合により発行が遅れました。「しおさい」は、会員の皆様方の広報の場です。今後とも、積極的にそして効果的に、紙面をご活用ください。

- 編集委員: 一之瀬炯次・氏家総子・後藤政也・佐々木志汪・佐野史瑞子・白井俊一・鈴木 稔・野中建吾・森川淳子